

ありまふじ里山だより

Vol. 8

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol. 8 は里山保全グループ「ありまふじ里守の会」の活動報告と低林管理実験区の様子についてお届けします。

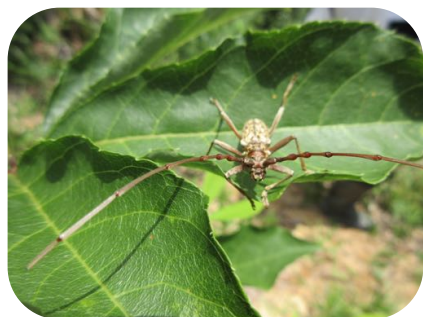


里守の会、活動日！

ひさしぶりに気持ちのいい青空が広がっています。そんな中、ありまふじ里守の会にとっては記念すべき初の活動日となりました。

午前中は里山散策ルートของササを刈り、歩きやすいよう整備しました。午後からは低林管理実験区の萌芽再生の状況を専門家とともに観察し、ソコゴなど常緑樹の芽かき作業をおこないました。

コナラの萌芽や実生は順調に成長しており、今後は植生調査をおこなった後、残す枝や実生を選定する予定です。



伐採跡には昆虫が集まる！

低林管理実験区の伐採跡では、カミキリムシやカナブン、タマムシをはじめとした多様な昆虫が見られます。

カナブンはコナラの樹に頭を突っ込んで、樹液を求めているようです。

専門家曰く、実験区は伐採したことにより、明るく開けた森になり、そのような環境を好む昆虫が集まっているのではないかとのこと。

専門的な調査はさておき、人が手を加えることで、里山の生物相が豊かになっているように感じます。